

2013 年 11 月

各 位

広島大学高等教育研究開発センター

センター長 藤 村 正 司

文部科学省科学研究費補助金

「21 世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究」

研究代表者 有 本 章

大学教授職の変容に関する国際会議のご案内について

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども広島大学高等教育研究開発センター、文部科学省科学研究費補助金「21 世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究」（研究代表者：有本 章〔広島大学名誉教授、現くらしき作陽大学高等教育研究センター所長〕）主催、くらしき作陽大学高等教育研究センター共催により、大学教授職の変容に関する国際会議「アジアにおける大学教授職の変容－キャリア形成、仕事と学問的生産性、国際化を中心に－」を下記要領で開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

当会議のプログラムを同封致しましたので、ご査収下さい。皆様には万障お繰り合わせの上、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。お申込方法は、下記をご参照下さい。

以上、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

－記－

The International Conference on the Changing Academic Profession Project

大学教授職の変容に関する国際会議

The Changing Academic Profession in Asia:

The Formation, Work, Academic Productivity, and Internationalization of the Academy

「アジアにおける大学教授職の変容－キャリア形成、仕事と学問的生産性、国際化を中心に－」

開 催 日	2014年1月24日(金)－25日(土)
開催場所	広島ガーデンパレス(広島市)
言 語	英 語(通訳なし)
参 加 費	無 料
申込方法	以下のいずれかの方法により、 <u>2014年1月15日(水)</u> までに お申し込み下さい。 1. 同封の参加申込書の郵送またはFAX送信 2. 当センターホームページ上のお申し込みフォーム利用

【お問合せ先】

広島大学高等教育研究開発センター 事務係

〒739-8512 東広島市鏡山 1-2-2

TEL: (082) 424-6240, 6244, 3540

FAX: (082) 422-7104

E-mail: k-kokyo@office.hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

大学教授職の変容に関する国際会議

『アジアにおける大学教授職の変容－キャリア形成、仕事と学問的生産性、国際化を中心に－』

2006 年以来、広島大学高等教育研究開発センターは、比治山大学、くらしき作陽大学と共同で国際的、比較的、そして実証的視点から大学教授職の変容に関する 7 回の国際会議を開催しました。2000 年までの 4 回の会議は、19 ヶ国が参加した大学教授職の変容に関する (CAP) プロジェクトの一環として、関連諸国と地域の大学教授職の現状や変化に関して政策や機関及び学科などの多様なレベルにおいて考察されたものでした。これらの会議は多くの成果を挙げており、英語や日本語で数多くの成果物が出版されています。

2010 年には、CAP プロジェクトの日本の代表者で、広島大学名誉教授、くらしき作陽大学学長顧問・高等教育研究センター所長の有本章教授が、文部科学省科学研究補助金 (基盤研究 A) 「21 世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究」を獲得しました。この 4 年間のプロジェクトは、引き続き世界と日本のシステムを対象に比較研究によって 21 世紀型の大学教授職の構築及び構築過程を明確にすることを目的とし、重点的にアジアの一部の国と地域における大学教授職の変化や特徴などについて考察します。過去 3 年間国際会議の開催を通して、関係諸国における大学教授職の変化に関する環境や、社会的状況、各国と地域の変化の動向などを検討するほか、アジアの関連諸国と地域の研究チームと連携して、現在プロジェクトに参加している 8 カ国が実施した共通アンケートや、調査要領および共同計画も作成しました。

以上の進展を踏まえて、2014 年 1 月 24 日～25 日に広島ガーデンパレスにおいて、広島大学高等教育研究開発センター、文部科学省科学研究費補助金「21 世紀型アカデミック・プロフェッション展開の国際比較研究」(代表：有本章) 主催、くらしき作陽大学高等教育研究センター共催により、第 4 回アジアにおける大学教授職の変容に関する国際会議を開く運びとなりました。今回のテーマは、アジア諸国における大学教授職のキャリア形成、仕事と学問的生産性、国際化に焦点をあてて、アメリカ、インドネシア、カンボジア、台湾、中国、ベトナム、マレーシアそして日本の研究者や関係者を招聘し、基本的にこのプロジェクトに参加している研究チームが共通アンケートに基づいて実施した全国調査の結果分析により、それぞれの国や地域における変化する大学教授職の実態や特徴などを議論します。具体的には、以下の研究課題を取り上げます。

- ・ 国際アンケートの調査分析により、アジアの一部の国や地域における大学教授職がどう形成したのか、それぞれの国々の特徴が何だろうか、そして関係諸国の大学教授職の将来はどうなるのだろうか
- ・ 国際調査が行われた各国と地域における大学教授職の国際化に関する特徴的な点をどう理解すればよいのか、各国と地域における共通点と相違点があるのか
- ・ 一部の国における大学教授職の仕事環境や学術的活動への報奨、学問的生産性の現状がどうなるのか
- ・ アジア関係諸国の大学教授職が直面している課題、とりわけ教育・研究活動、管理運営、そして国際化をめぐる問題点が何だろうか、彼らの教育・研究活動は学問的生産性とどのような関連性があるのか
- ・ このアンケート調査に基づいた国際共同研究により、政策的、実践的、そして研究的なレベルにおいて何のインプリケーションが提供されるのか

最後ですが、ご参加くださる皆様にぜひ積極的に発表や討論に参加していただくと共に、広島で充実した時間を過ごしていただけるように祈っています。

2013 年 11 月

広島大学 高等教育研究開発センター長
藤村 正司

くらしき作陽大学学長顧問・高等教育研究センター所長
有本 章